



輝く 恵那人

254人目



上矢作町 木の実
中根 ^{りきと}力翔さん (17歳)

□プロフィール

中京高等学校(瑞浪市)の3年生。高校生活にアルバイト、ドローンの練習や大会など、多忙な日々を送る。世界のレーサーとの交流のため、英語の勉強にも励む。休日は友人と釣りをしたり、ロードバイクで市外へ出かけたりして過ごしている。自宅にはドローン専用の練習場があり、草刈りも自ら行う。



◀中根さん Instagram



▲レースに挑む中根さん(左)

遠隔操作で空中を自在に飛ぶドローン。昨年9月、ドローンレーサーとして国内15人のプロクラス入りを果たした中根さんは、学業と両立しながら、レースへの出場、機体の調整、映像編集までを一人でこなし、限られた時間を最大限に生かして挑戦を続けている。中根さんが出場する競技「FPVドローン」は、機体が撮影した映像を、Google越しにリアルタイムで見ながら操縦するレース。まるで自分が操縦席にいるかのような視点で、障害物をくぐり抜け、速さを競う。そのスピードは時速200kmにも達し、コーナリング技術に加え、バッテリー残量を考慮した、高度で戦略的な操縦が求められる。ドローンとの出会いは、小学3年生のころ。ドローンを生かしたまちづくりを進める上矢作町での授業がきっかけで、大空を飛ぶ姿に魅了された。中学2年生からレースに出場するようになり、現在

は茨城県のプロチーム「SNW」に所属し、毎月6時間かけて練習に通う。自宅にも練習場を設け、日々腕を磨き、機体のカスタマイズも自ら手がける。昨年9月、国内最大級の大会でエキスパートクラス3位に入賞し、悲願のプロクラスへ昇格。「やる」と決めたらとことんやる。スピードは負けない」と意気込み、厳しいプロの世界でさらに上を目指す。ドローンで撮影した映像制作にも力を入れ、SNSでの発信や企業への提供も行う。一昨年には富士スピードウェイでのイベントで撮影とライブ中継を担当。昨年11月のいわむらみムービーコンテストでは優秀賞を受賞するなど、競技以外にも活動の幅を広げている。「日本代表になって、世界で活躍したい。将来は起業し、ドローンを使った映像制作を続けたい」と夢を語る中根さん。日々の努力と大きな夢を詰め込んだドローンとともに、力強く空へ翔ける。

夢に向かって、飛び続ける 世界へ挑む高校生ドローンレーサー



3/8 絆を未来へ ポーランドが万博のモニュメントを寄贈

News & Topics

まちのわだい

市のホットなニュースを紹介!

その他の話題はこちら▶



大阪・関西万博のポーランドパビリオンで使われた木組みモニュメントの一部を、恵那北中と市役所に移設。式典には駐日ポーランド大使も出席し、生徒らと完成を祝いました。



3/6 ロボットを活用して 新たな働き方を

外出困難な方が遠隔操作するロボット「OriHime」の活用を学ぶ講演会を開催し、約100人が参加しました。



3/12-13 心のままに 新しい校歌を練習

恵那南地区5校で、恵那南中の校歌の歌唱指導が行われました。生徒らは、歌詞に込められた思いを聞き、練習に励みました。



3/15 40回の節目 日本大正村クロカン

明智町で日本大正村クロスカントリーを開催。1,612人が春の大正村を楽しみながら駆け抜けました。



3/27 大学生が住宅をリノベーション

オンライン大学「ZEN大学」の学生が地元工務店と協力し、岩村町の旧教職員住宅のリノベーションに挑戦。内覧会で、こだわりや工夫を説明しました。

おめでとうございます! ☆

3/3 県伝統文化継承者表彰 受賞を報告

剣詩舞に取り組む山田ひさ子さん(長島町)、詩吟に取り組む永冶繁代さん(笠置町)、恵那歌舞伎保存会が、県伝統文化継承者表彰を受賞し、報告に訪れました。



サッカーの指導を行う進藤幸司さん(大井町)と、剣道の指導を行う原幸生さん(長島町)が県地域スポーツ功労賞を受賞し、伝達式が行われました。

3/26 県地域スポーツ功労賞 表彰の伝達式

